

(様式第 10 号)

完了評価結果報告書

令和 8 年 9 月 7 日

衛生研究所長 殿

茨城県衛生研究所評価委員会

委員長 木村 博一



調査研究課題	茨城県における腸管出血性大腸菌の分子疫学解析に関する研究
--------	------------------------------

評価項目	評価	意見	備考
① 調査研究の妥当性	5、5、4、5、 5、5、4 平均評価点 4.7	感染症及び食中毒対策に直結する研究であり小額の予算で効率的に行っていて妥当性が高い。	
② 目標の達成度	5、5、4、5、 5、5、5 平均評価点 4.9	目的とした全ゲノム解析法を確立し、目標は十分達成されている。	
③ 成果の意義、達成度	5、5、5、5、 5、4、5 平均評価点 4.9	ゲノムSNPレベルでの解析方法を研究所で確立したことは、感染経路の推定には非常に意義が高い。今後の活用が期待される。	
④ 総合評価	5、5、5、5、 4、4、4 平均評価点 4.6	NGSによる分子疫学解析で得られた緻密なデータが、感染源の推定等に大きな貢献をもたらす有益な研究として評価できる。また、今後の予防対策にも有意義な知見をもたらすと考えられる。 今後必要に応じて対応が必要となるため、継続性について検討が必要と思われる。今後の活用を期待するとともに、研究成果である技術の継承を確実にお願いしたい。	

評価点 1：不良 2：やや不良 3：普通 4：やや良好 5：良好

※事務局コメント

今後は必要に応じて確立した検査方法を活用し、感染源の推定や予防対策を図るとともに、確実な技術の継承に取り組んでまいります。